



(左) 生徒会を中心に進める「シトラスリボンプロジェクト」／(右上) 積極的に質問したオンライン授業／(右下) 絵手紙を送りました

## 第34回 未来を担う“おおむたっ子”

### 持続可能な地域づくりに向けて 宮原中学校

宮原中学校では、毎年校区の高齢者宅へ訪問し、交流を図っていますが、今年はコロナ禍で会えず、絵手紙を送るなど工夫しながら交流を続けています。また、現在、新型コロナ感染防止のために尽力されている方に感謝するため「シトラスリボンプロジェクト」に取り組んでいます。このプロジェクトは、地域で笑顔の暮らしを取り戻せることの大切さを伝え、感染された方や医療従事者を「おかえり!」「ただいま!」の気持ちで受け入れ、地域で笑顔と思いやりのある暮らしやすい社会を目指すものです。今後、新型コロナに関係する方々へ感謝の気持ちを込めて、手作りのリボンを贈る予定です。

また、ゲストティーチャーを招いたオンライン授業では、10月に中学生の時に東日本大震災で被災された南三陸町の方から話を聞き、今年の大牟田での災害を踏まえ、減災のために、自分たちができることは何かを考えました。11月には、夕張市職員の方から、まちづくりにかける熱い思いを聞き、中学生でもまちづくりに参加できることを実感し、大牟田の活性化のために活発に議論しました。

宮原中学校では、このような活動を通し、地域との「つながり」や「かわり」を大切にしながら、地域のために自分たちができることを考え、発信・行動できる生徒を育てています。



SDGs (持続可能な開発目標) の3番と11番の目標を達成するための学びを深めています。



生徒数 286人  
(令和2年12月1日現在)

市の南東部に位置し、宮原坑等の世界遺産を有する自然豊かな地域です。学校教育への関心も高く、地域活動が活発に行われています。



シトラスリボンの3つの輪は、「地域」「家庭」「職場・学校」を表現しています。